



大井町議会だより 2022.11.1 No.213

ひ た よ う た ん

正副議長改選…………… 2

第3回定例会…………… 4

9月13日から26日までの14日間

令和3年度決算認定

一般質問 ここが聞きたい（8人）…… 10

町のこの人あの人…………… 14

大井町が好き

相和が好き

地元が大好き

篠窪地区

くにしま かずこ
國島 和子 さん



頼朝さんのかかしと一緒に（かかし祭）

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp

URL <https://www.town.oi.kanagawa.jp/site/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

議長に 田村 俊二 氏 副議長に 清水 亜樹 氏 を選出

正副議長選挙の結果 (投票総数は、ともに 14 票)

議長選挙		副議長選挙	
田村俊二	議員	清水亜樹	議員
大石舞	議員		無効票
13 票		13 票	
1 票		1 票	

第3回定例会は、9月13日から26日までの14日間の会期で開催され、令和3年度の6会計の決算、令和4年度の5会計補正予算などの審議をしました。また、行財政全般にわたる一般質問には8人の議員が登壇し、町の考えを質しました。

最終日には、議員間の申し合わせにより、議長・副議長の選挙を行いました。議長選挙の投票前に休憩をとり、議長志願者の所信表明を行いました。

この所信表明では、田村俊二議員が議長を志すスピーチを行いました。他の志願者はなく、直ちに投票を行った結果、田村俊二議員が議長に当選しました。次に副議長選挙を行い、所信表明後、清水亜樹議員が当選となりました。そして、常任委員会の委員等の改選を行いました。

また、議員選出の監査委員には、清水豊司議員を選任することに同意し、閉会しました。



副議長 しみず あき
清水 亜樹

就任のご挨拶



議長 たむら としづぐ
田村 俊二

町民の皆さまには、日頃より町議会の活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

私たちは、9月26日の議会役員改選におきまして、議長、副議長に選出され、就任いたしました。身に余る光栄であるとともに、職責の重さを痛感し身の引き締まる思いでございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大や軍事侵攻による世界情勢の動向は、町民の皆様のご日常生活や経済活動に大きな影響を及ぼしています。

議会は、これらの諸課題に対し、町民の皆さまの生活と健康を守るための施策を執行機関と真摯な議論を重ね、機動的に取り組んでまいります。

また、二元代表制の一翼を担う議会として、行政への監視機能を果たすとともに、「政策提案型」議会の推進、積極的な情報公開を図るなど町民の皆様のご期待と信頼にお応えできるよう、公平公正な議会運営に努めてまいります。

委員会等の構成



企画経済常任委員会

委員長 牧野 一仁
副委員長 和田 紀昭
委員 伊藤奈穂子
委員 田村 俊二
委員 田中 正彦
委員 黒岩陣太郎
委員 重田 有紀



教育福祉常任委員会

委員長 鈴木 磯美
副委員長 岡田 幸二
委員 清水 豊司
委員 清水 亜樹
委員 鈴木 武夫
委員 山崎 真弘
委員 大石 舞

広聴分科会

副委員長 田中 正彦
委員 清水 豊司
委員 牧野 一仁
委員 鈴木 磯美
委員 鈴木 武夫
委員 重田 有紀

広報分科会

副委員長 大石 舞
委員 伊藤奈穂子
委員 岡田 幸二
委員 山崎 真弘
委員 和田 紀昭
委員 黒岩陣太郎

広報広聴常任委員会

委員長 清水 亜樹

議会運営委員会

委員長 伊藤奈穂子
副委員長 山崎 真弘
委員 牧野 一仁
委員 鈴木 磯美
委員 岡田 幸二
委員 和田 紀昭

※鈴木武夫議員につきましては、
10月4日付けで辞職しました。



議員選出監査委員

清水 豊司

一部事務組合選出議員

足柄上衛生組合議会議員

田村 俊二

鈴木 磯美

足柄東部清掃組合議会議員

田村 俊二

清水 亜樹

牧野 一仁

令和3年度 各会計の決算状況

単位：万円

会 計		歳 入	歳 出	差 引
一 般 会 計		63 億 3,771	63 億 4,611	4 億 9,130
国民健康保険特別会計		15 億 777	14 億 6,199	4,578
後期高齢者医療特別会計		2 億 4,706	2 億 3,883	823
介護保険特別会計		12 億 5,234	11 億 9,512	5,722
水道事業 会 計	収益的収支	3 億 4,630	2 億 4,343	1 億 287
	資本的収支	3 億 1,411	4 億 5,205	△1 億 3,794
公共下水道 事業 会 計	収益的収支	4 億 6,011	4 億 4,907	1,104
	資本的収支	9,320	2 億 1,795	△1 億 2,475

※金額は端数を調整して、万単位としております。

第3回定例会

令和3年度決算認定は、一般会計と3つの特別会計、2つの企業会計について町長から概要の説明があり、また北村公男代表監査委員から監査報告がなされ、引き続き課長から要点に触れて説明が行われました。

一般会計の審査においては、決算審査特別委員会を設置し、詳細な審査を行い、本会議では、委員長報告後、大石舞議員の反対討論和田紀昭議員の賛成討論があり、賛成多数で認定しました。

その他5会計においては、賛成全員で認定しました。

決算ダイジェスト

一般会計

歳入全般

問 保育所保育料が増加して歳入が増えているが、その要因は。

答 一時保育が約90万円増額。低年齢の利用が増えたため。

問 パートナリシップ宣誓制度における近隣市町との協定状況は。

答 現時点で1市5町と協定している。

問 町税における不納欠損額の件数は。

答 130件である。

問 町税の主な減収要因は。

答 コロナ禍で固定資産税の減免措置を講じたため。

問 滞納繰越分への対策は。

答 モバイル決済を推進するなど、納税環境の改善に努めている。

問 令和3年度滞納者への差し押さえ件数は30件執行した。

答 令和3年度滞納繰越分の増加要因は。

問 法人税滞納繰越分の増加要因は。

答 倒産等の件数が増えたため。

問 入湯税の内訳は。

答 日帰り一人あたり80円で54人となる。

問 大井幼稚園の園庭芝生化の効果は。

答 防塵効果等もあったが、子ども達が素足で駆け回る姿を見ると、思った以上に効果はあったと感じる。

問 財政指標からみた令和3年度決算をどのように評価しているか。

答 健全に執行できた」と評価している。

問 マイナンバーカードの交付率は。

答 令和3年度末の交付率については39.6%である。

問 有価物収入の内訳と今後の対応は。

答 紙類等の資源ごみである。リサイクルできるものに関しては活用して取組んでいく。

問 休日急患診療所の負担金の算出根拠は。

答 均等割と実績割にて算出される。

歳出全般

問 総務費の町職員における超過勤務手当の増額要因は。

答 昨年度より約60万円増増加している。災害対応等が主な要因である。

問 勤怠管理におけるデジタル化の考えは。

答 給与システムとの連携を視野に導入を検討する。

問 カーブミラー設置工事について、予算の執行残を活用して、自治会からの要望に沿うことができたのでは。

答 予算ありきではなく、今後とも現場を確認し、地域の声をよく聞いて対応する。

第3回 定例会

問 社会福祉協議会の移送サービス補助金の内訳は。

答 福祉有償運送に係るボランティアの保険料、講習会等の補助である。

問 住宅用スマートエネルギー補助金の申請件数は。

答 太陽光発電20件、HEMS（へムス）16件、蓄電池15件であった。

問 産婦配食サービスに対する利用者の評価は。

答 利用者アンケートからは、おおむね好評であった。

問 高齢者見守り機器購入費は2件で執行率が低いが周知の方法は。

答 令和3年度は広報やホームページにて周知した。今後は民生委員とも連携して周知を図っていく。

問 移住定住促進事業として、お試し住宅を進めているが、その効果はあったのか。

答 移住定住につながった実績もある。また相談も受けている。効果は期待できるものと考え、今後とも進めていきたい。

問 三世代同居補助金で町外から移住につながった件数と財政効果は。

答 町外から移住された件数は55件であり、今後2524万円余が増収として見込まれる。

問 ふるさと納税における今後の考えは。

答 品目を工夫して進めていく。

問 有価物等の収集において、廃プラスチックが増加した要因と今後の対応は。

答 容器包装、ペットボトルともに増加した。

町民の皆様の分別意識の成果であり、今後とも周知を図っていく。

問 住民税非課税世帯給付金は何件の実績か。

答 非課税世帯の給付実績は998件、家計急変世帯の給付実績は2件である。

問 ドクターヘリの運営事業費は町も負担するののか。

答 県の負担であり町の負担は無い。

問 和田堰の負担金20万円の内容は。

答 川音川から和田堰に水を取り入れる水門に土砂が堆積しており、それを撤去する重機のリースや、草刈りのための維持管理費である。

問 就学援助事業の周知方法は。

答 町ホームページ、広報にて周知に取組んでいる。

問 体育施設点検委託料の増額理由と点検の頻度は。

答 業者が変わり、今までの金額では出来なくなつたため。点検は年2回実施している。

問 防災備蓄倉庫について災害時の救援物資を倉庫内に入れるのはスペース的に難しいがどう対応するののか。

答 町内の物流業者と協定をしているので有事の際はそちらの業者にも対応してもらう予定。

問 幼稚園の園庭芝生委託の内訳は。

答 日常管理としてはシルバー人材センターに委託し、エアレーションなど特殊管理に関しては専門業者に委託した。

問 相模金子駅西側の歩道改良工事で該当する交付金等の特定財源

はなかったのか。また、点字ブロックの設置の検討はあるのか。

答 対象となる補助金等はなかった。点字ブロックに関しては今後設置する方向で検討する。

問 奨学補助事業費の申込み状況は。

答 対象となつた2名以外の申込みはなかった。

問 ハザードマップ8000枚の配布方法は。

答 自治会を通じて配布した。また、役場の窓口、協力企業などを通じて配布した。



令和3年度事業箇所の現地視察
(園庭芝生化推進事業 大井幼稚園)

問 地域学校協働活動推進員の活動内容と今後の展望は。

答 令和3年度は、主に学校図書室の改善に協力していただいた。今後はボランティアの中核的な存在として活躍していただきたいと考えている。

問 夢おおいファーマー制度の効果と実績は。

答 件数としては2件であったが、地域の農業生産者との交流が図れた。今後とも農ある暮らしの実現に向けて取り組んでいく。

特別会計・企業会計

国民健康保険

問 国民健康保険税の不納欠損の内容は。

答 対象者271名のうち54名で510万2020円を時効により処分をした。

問 不納欠損額が増えているが対応は。

答 督促状の送付や電話・催告書、戸別訪問などを行っている。引き続き分納誓約などで解消を図る。

問 国民健康保険税が減収となっているが理由は。

答 コロナ禍の影響により所得割の税率を引き下げたことや平等割りの減免を行っており、加えて被保険者の所得が減ったため減収となった。

問 コロナによる傷病手当の実績が3件であるが、この制度の周知方法は。

答 広報等を通じて周知した。今後も様々な媒体を使い周知していければと考えている。

問 特定健康診査の受診率が27.5%と低い状況だが対策は。また性別や年齢などの検証はしているか。

答 受診率は県平均に満たない状況である。性別、年齢等の分析はできていない。受診率向上に向け受診勧奨の業務委託を令和4年度から実施している。

問 人間ドックには女性特有の健診も含まれるが内訳は。

答 人間ドック受診87件のうち39件が女性特有の健診となっている。



後期高齢者医療

問 被保険者数が増えた要因は。

答 大井中央区画整理であったり町外からの転入者が増えたため。

問 普通徴収で16万4960円が収入未済額となっているが徴収見込みは。

答 今年8月末時点で4万6900円の未済額となっている。引き続き滞納整理に努めている。

介護保険

問 「おい！元気会」運営サポート活動費謝礼が増額しているが理由と謝礼額を見直す考えは。

答 令和2年度は一部活動を休止していたが、令和3年度は年間を通して実施したため、謝礼額については検討したい。

問 介護認定者数が684人だが、未受給者に対する調査は令和3年度は実施したのか。また、その状況は。

答 調査はした。受給されていない方は、入院等の医療を受けている状況である。

問 地域密着型サービスの利用が増えている。令和3年度に地域密着型施設が開設されたが状況は。

答 開設当初は、空きがある状況であったが、年度末においては満床となっている。

水道事業

問 管路の更新を進めた方がよいと考えるが見解は。

答 施設の改修が落ち着いた段階で計画的に管路の更新を進めていきたい。

問 本町では鉛管を使っている家庭があるが、管路の更新などに併せて鉛管を減らすことが必要と考えるが。

答 管路の更新や家の建て替えなどで鉛管があれば交換している。

公共下水道事業

問 有収率が6.7%改善しているが理由は。

答 令和元年度にカメラによる管きよの調査が実施されたことによる。今後、長期的かつ総合的に判断する。

問 水道会計と比べると経営内容は厳しい状況である。今後値上げを予定しているようだが見解は。

答 料金改定をしてこなかった経緯等も考えると検討を開始している。今後、長期的かつ総合的に判断する。

決算審査特別委員会

令和3年度決算審査にあたっては、本会議の一般会計決算審議において、特別委員会が設置され、企画経済・教育福祉常任委員会よりそれぞれ4名を選出し、合計8人の委員会が組織され9月16日に詳細な審査を行った。



委員長 鈴木 磯美
副委員長 清水 亜樹
委員 伊藤 奈穂子
委員 牧野 一仁
委員 山崎 真弘
委員 和田 紀昭
委員 重田 有紀
委員 大石 舞

令和3年度 一般会計決算 討論

コロナ禍において、町民福祉の増進を

さらに進めるべきであった

反対討論 大石 舞

私は予算討論において「コロナ禍から回復に向かうための町独自の施策がほとんど無い」と述べた。決算においても、やはり町民福祉増進のための取組みが十分ではなかったと考える。

今決算においては町民税の減額が見られ、中小企業の倒産もあったと述べられた。国民生活が厳しい状況であったことは明白である。このような非常事態だからこそ、住民生活を守ることを中心においた施策の実行が求められていた。

財政状況は、実質収支額が4億8865万3000円である。実質収支の比率は「標準財政規模」の3〜5%が望ましいが、令和3年度の標準財政規模は増えたと示された。今年度の実質収支額は、昨年度よりもさらに多すぎると言える。

実質公債費比率もマイナス2.7%であり、全国市町村平均の7.7%よりも下回っている。財政調整基金の繰入額は2億7000万円余であり、かなりの金額が基金に積み立てられた。町の課題となっているさまざまなことを前向きに進めていける余裕は、十分にあったと考える。例えば就学援助制度の拡充や、中学校給食の無償化・または全体の給食費の値下げ、保育園移設などの調査・研究もできたのではないだろうか。マンパワーに課題があるならば、多少の人員を雇う余裕もあったと考える。町職員数が少ないのではないかと質疑されたので、多様化する住民ニーズに十分に対応できる人員体制なのか、今後の調査・研究を期待する。

今決算をふまえて、来年度の予算では、住民が求めている施策をさらに進めて頂くことを期待する。

健全な行財政運営と認め、

今後の取組みに期待する

賛成討論 和田 紀昭

令和3年度の歳入総額は68億3771万円、歳出総額は63億4640万8000円である。繰越明許費として繰越すべき額264万9000円を差し引いた実質収支額は4億8865万3000円、経常収支比率は84.1%となり前年度から6.1ポイントの改善となっている。これは、歳入において町税が減少したものの地方交付税や各種交付金の増加、及び臨時財政対策債の借入れが影響しているが、健全な行財政運営であると評価する。

次に歳入は、固定資産税が大幅に減額、国庫支出金、県支出金の大幅減額、さらに財政調整基金、教育施設整備基金の取り崩しを行わなかったことや、町債が臨時財政対策債のみであったことから、厳しい財政状況となっているが起債することなく積極的に補助金や交付金を獲得していることは評価する。

歳出においては「つなごう！大井未来計画」第6次総合計画「がスタートし、第1次実施計画を順調に推進していると感じている。GIGAスクールのさらなる推進、大井幼稚園の園庭芝生化等、未来を担う子ども達に対する取組みや、防災備蓄倉庫の建設、地域公共交通への取組み、農地問題に対しては、夢おおいファーマー制度の創出、荒廃農地対策機械リース助成金は、未来の大井町の問題改善に対する取組みにさらなる期待をよせるところである。

年々深刻化する災害対策、福祉の充実、子育て世代に対する支援等、より一層の取組みに期待し私の賛成討論とする。

条 例

大井町議会議員及び大井町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

*最近の物価の変動等に鑑み、公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行により、選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ビラ等の作成の公営に要する経費に係る限度額が引き上げられたことから所要の改正をするもの。

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
(賛成全員)

*地方公務員の育児休業等に関する法律等の一部改正に伴い、育児を行う職員の職業生活と家庭生活の両立を一層容易にするため、育

児休業の取得回数制限及び非常勤職員の育児休業の取得要件の緩和等の育児休業を取得しやすい勤務環境の整備に関する措置を定める等の所要の改正をするもの。

問 男性の育児休業、育児休暇の申請はあるか。

答 育児休業の申請はない。妻の出産時休暇は、ほぼ全ての対象職員が取得。育児参加休暇は1人。

補正予算

一般会計(第2号)
(賛成全員)

*歳入では地方特例交付金の交付額の決定をはじめとする各種補助金等の決定や、令和3年度決算に伴う繰越金の確定。歳出では、新型コロナウイルススワク

者生活再建支援システム導入経費、光熱費等を計上。

問 被災者生活再建支援システムの内容は、

答 罹災証明書等の発行・管理を迅速にするためのクラウドシステム。システム導入により、被災したとき建物の被害状況等をモバイル機器等を使い対応できるようにする。

問 ランニングコストは。

答 使用料、賃借料として年間40万円前後。

問 電気自動車等購入費補助金の今後の見込みは。

答 本年7月に予算額を超えたため今回増額計上している。

問 臨時財政対策債の発行可能額が1億2000万円の理由は。

答 交付税とのバランスにより国が決定して

いる。本町としては、臨時財政対策債を借りるより今ある財源の中で運営していく。

問 感染症対策物品配付事業費の内容は。

答 進路を決定する中学3年生全員に、1人当たり抗原検査キット2回分を配付する。

問 抗原検査キットの配付時期は。

答 できるだけ早い時期に配付する。

工事請負契約の変更

道路改良工事(町道501号線)
(賛成全員)

問 補正で増額計上しなかった理由は。

答 増額補正すると社会資本整備総合交付金の対象から外れてしまったため。計画どおり令和6年度に完成の予定。

*道路改良工事(町道501号線)について指名競争入札の結果、有限会社井上興業が落札したため承認を求めるもの。

問 今回の工事延長を縮小した理由は。

答 人件費、材料代が11%上昇したため予算の範囲内で執行した。

問 工期中のホール利用は。

答 工期の1月29日から3月いっぱい休業する。

問 部材等、値上がった場合の取り決めは。

答 今回はしていない。

生涯学習センター舞台吊物設備改修工事
(賛成全員)

*生涯学習センター舞台吊物設備改修工事について指名競争入札の結果、株式会社大塚(東京営業所)が落札したので承認を求めるもの。

問 工期中のホール利用は。

答 工期の1月29日から3月いっぱい休業する。

問 部材等、値上がった場合の取り決めは。

答 今回はしていない。

人 事

人権擁護委員の推薦について議会の意見を求めること(賛成全員)

*任期満了に伴い再度選任したく議会の同意を求めるもの。



生涯学習センター舞台吊物設備

第3回 定例会

山口 君儀 氏 (再任 柳)	瀬戸 浩一 (上山田) 片野 滋 (根岸下) 片野 光春 (河原) 藤澤 正美 (金手) 下澤 誠一 (西大井) 浅倉 貞雄 (上大井)	大井町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求めること (賛成全員)	大井町教育委員会委員の任命について同意を求めること (賛成全員)	*任期満了に伴い再度選任したく議会の同意を求めるもの。 (賛成全員)	橋本 一男 氏 (再任 西大井)	大井町農業委員会委員の任命について同意を求めること (賛成全員)	*任期満了となるため後任を任命するもの。 (賛成全員)	稲葉 義雄 (篠窪) 川口 光孝 (柳) 北村 正夫 (赤田) 柳川 重男 (下山田)
清水 豊司 氏 (新任 市場)	中篠 政夫 氏 (再任 新宿)	大井町監査委員の選任について同意を求めること (議員)	*議員選出の監査委員を新たに選任するもの。 (賛成全員)					

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対
清水豊司議長は、採決に加わりません。
(第43号は、田村俊二議長)

臨時会の別	議案番号	議員名(議席順)と審議結果	大石 舞	黒岩 陣太郎	重田 有紀	和田 紀昭	山崎 真弘	岡田 幸二	鈴木 武夫	鈴木 磯美	田中 正彦	田村 俊二	牧野 一仁	清水 亜樹	伊藤 奈穂子	審議結果
第3回定例会	30	大井町議会議員及び大井町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	31	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	32	令和4年度大井町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	33	令和4年度大井町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	34	令和4年度大井町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	35	令和4年度大井町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	36	令和4年度大井町水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	37	人権擁護委員の推薦について議会の意見を求めること	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	同意
	38	大井町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求めること	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	同意
	39	大井町農業委員会委員の任命について同意を求めること	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	同意
	40	大井町教育委員会委員の任命について同意を求めること	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	同意
	41	工事請負契約の締結について(道路改良工事(町道501号線))	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	42	工事請負契約の締結について(生涯学習センター舞台吊物設備改修工事)	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
	43	大井町監査委員の選任について同意を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	認定1	決算認定について(令和3年度大井町一般会計)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	認定2	決算認定について(令和3年度大井町国民健康保険特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	認定3	決算認定について(令和3年度大井町後期高齢者医療特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	認定4	決算認定について(令和3年度大井町介護保険特別会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	認定5	利益の処分及び決算認定について(令和3年度大井町水道事業会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	認定6	利益の処分及び決算認定について(令和3年度大井町公共下水道事業会計)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

協働のまちづくりに欠かせないものは何か

答 ガイドブックに沿い、町民参加を働きかけ推進していく

岡田 幸二 議員



問 公約に掲げた「協働のまちづくり」だが、4年間の成果は、
町長 コロナの影響が大きく必ずしも満足のいくものではないが、今までにない新たな道を開いたことで、一定



社協との協働
デジタル活用支援推進事業を
活用した講座

の成果をあげたと考える。
問 複雑化する地域問題を協働で解決するには、行政から積極的に働き掛ける必要があると思うが。
町長 高齢者サポートをはじめ具体的な問題に対する協働の取組みと、その仕組みづくりは必要だと考えている。
問 協働の担い手である町民活動団体の把握と町民への情報提供は。
町長 情報提供が不十分と考えている。現在把握している団体をもとにカテゴリー分けし、情報提供を検討したい。
問 各課における協働の取組みや各自治会活動の一覧を町民と共有し、協働を推進しては。
町長 各課をまとめた全体像はないが、他自治体を参考に検討したい。自治会活動については、他自治会の活動を参考とした情報提供を引続き行い、活性化できるように広報おおい等を活用し進めていきたい。
問 町民が協働へ参画しやすい仕組みづくりの考えは。
町長 協働のガイドラインで示すように、町民の意識の醸成をはじめ4つの方針で推進しているが、さらに参画しやすい環境づくりに取り組んでいきたい。

物価高騰の中、必要に応じて給食食材への補助を

答 質・量が低下しないよう補助していく

清水 亜樹 議員



問 現在、町は給食費が値上がりしないよう食材に対して補助をしている。更に物価が上昇しているが、質や量が保たれるように必要に応じて補助をすべきでは。
町長 当初6%ほどの

値上り分を補助したが、まだ値上がることが想定されるので、質・量を落とさないよう補助していく。
問 4か月間の水道料金の減額をしているが、更に延長する考えは。
町長 検証した中で、公平性・平等性が保たれるよう支援していきたい。
【おおいゆめの里周辺施設について】
問 おおいゆめの里の誘客が進む方策の考えは。
町長 官民連携による観光の拠点づくりが推



質と量が保たれている給食
(写真は十五夜献立)

進めるよう、観光資源の有効な利用上必要な建築物に係わる都市計画法の手続きを進めており、官民連携により新たな施設整備や観光事業の創出が可能となるよう観光拠点づくりを推進し、誘客の促進につなげていく。
問 方策の一つとして、早咲き桜の開花時期に合わせて、ライトアップをする考えは。
町長 観光資源となる大きな武器となる。様々な課題もあるが、積極的に検討していきたい。

問 公園は21時の閉園時に誘導灯も消灯されるが、公園北側は防犯灯も無く非常に暗い。防犯の意味でも誘導灯の点灯時間の延長が望ましいと思うが見解は。 **課長** 道路に関しては明かりが欲しい状況で



大井中央公園の安全・安心・快適な利用について

答 利便性の良い公園づくりを目指していく

黒岩 陣太郎 議員



誰でも利用できる公園内のバスケットコート

あれば防犯灯の対策が望ましい。公園内とその周辺は、松田警察署に協力を要請してパトロールを強化している。合わせて園内には防犯カメラが2基設置されている。

問 公園内に自動販売機の設置の検討はあるか。 **町長** 現在飲料用自動販売機の設置に向けて業者と調整を進めている。

問 3×3のバスケットコートは幅広い年齢層から高評価だが、仮に車いすバスケットでプレーしたいと申し出があった際の対応は。 **町長** 車いすバスケットも是非、利用してほしい。

問 周辺道路の交通安全対策において、ドット線だけではなく道路鎮などの設置も効果的だと思いが解は。 **課長** 中心鎮の効果があるということは認識している。危険が潜んでいる箇所への設置は検討していきたい。

問 核兵器廃絶の今日的意義は。 **町長** 日本や世界全体で取組むべき恒久の命題である。被爆者等、多くの方々の苦しみは続いている。非核平和都市宣言は、現在も非常に重要である。



非核平和都市宣言 30 周年の町の取組みは

答 核兵器廃絶の意識高揚の活動に取り組んでいく

大石 舞 議員

問 核兵器廃絶の今日の意義は。 **町長** 日本や世界全体で取組むべき恒久の命題である。被爆者等、多くの方々の苦しみは続いている。非核平和都市宣言は、現在も非常に重要である。

問 2030年までに削減すべきCO2排出量は。 **町長** 2019年度の排出量からマイナス3万5000トンCO2の削減が必要である。

問 平和施策の今後の拡充は。 **町長** 関連部署と連携を図り、引き続き平和啓発活動に取り組む。

問 太陽光発電以外の再生可能エネルギー導入の検討が必要と認識している。 **町長** 省エネ施策の達成状況は。 **町長** 省エネ配慮したオフィスづくり、温室効果ガス削減、公用車のエコカー導入等主に取組んだ。計画改定の際に見直し等を検討していく。

問 平和施策の今後の拡充は。 **町長** 関連部署と連携を図り、引き続き平和啓発活動に取り組む。

問 太陽光発電以外の再生可能エネルギー導入の検討が必要と認識している。 **町長** 省エネ施策の達成状況は。 **町長** 省エネ配慮したオフィスづくり、温室効果ガス削減、公用車のエコカー導入等主に取組んだ。計画改定の際に見直し等を検討していく。



核兵器廃絶の懸垂幕

通級指導の拡充を

答 早い時期に他校へ設置の方向で検討する

伊藤 奈穂子 議員



問 小学校において通常級に在籍している子どもの中にも、配慮を要する子どもが増えている中で通級指導の拡充が必要では。

教育長 現在、上大井小学校の「ことばの教室」には30人前後が指導を受けている。この



ことばの教室

問 不登校の児童生徒へのオンライン授業を工夫することが必要では。

教育長 各学校にオンライン交信できる機器を配置した。今後、活用していく。

問 【防災・減災対策について】避難行動要支援者名簿に登録している方

の個別避難計画作成には防災安全課と福祉課の連携が必要では。

課長 今後、検討、連携していく。

問 個別避難計画作成に当たり福祉避難所の指定は。

課長 避難する人数の把握をするためにも、まずは個別避難計画を整備していく。

問 車中避難の必要性は。

課長 地域防災計画にどう反映させるか課題はあるが無視できない事だと考える。

問 耐震シェルター等の設置に対して公費助成する考えは。

町長 調査研究する。

問 防災倉庫のシャッターにすいっぴー等をペイントしてはどうか。

町長 費用等もかかることから備蓄倉庫に整備するものを優先した後、検討する。

公立幼稚園の存在意義とは

答 希望する誰もが入園できる

重田 有紀 議員



問 幼稚園の先生は本町の宝であると考えますが、どのように位置づけているか。

教育長 先生なくして幼稚園教育は存在しない。

問 年少児だけ1クラス定数25名と少なく設定する理由は。

課長 3年保育開始時の幼稚園教育研究会で決定した。

問 条例、要綱等に定めているか。

課長 運営の取り決めであり特に定めていない。

問 現行定数は保護者ニーズに合っているか。

教育長 心配があれば担任と話してほしい。

問 昨年度、年中進級時、1クラス人数が倍となり、園から定数削減の要望はなかったか。

教育長 聞いていない。

問 新規こども園参入で幼稚園の存続が危ぶまれないよう、その存続に尽力すべきと考えるが、定数削減について今後検討するか。

教育長 検討委員会で話題になると思われる。

問 先生募集について、年齢上限35歳としている理由は。

課長 特にない。

問 先生の休憩時間取得状況は。



存在、幼稚園の先生
なくてはならない

教育長 把握してない。

問 先生は時間外勤務手当の支給対象者か。

課長 間違いない。

問 昨年度、第二幼稚園の時間外勤務手当申請はゼロ。勤務前30分の園舎掃除は時間外勤務に相当するか。

課長 時間外勤務は命令があつて成立する。掃除については、それが必要なら考えようがある。

問 朝、勤務時間前に園バスが発発しているようだが。

課長 時間的に見て矛盾があり、必要はあると考える。

産官学民協働推進とあしがらローカルブランディングへの取り組み状況は

答 引き続き地域資源の活用等で強化していく

田中 正彦 議員



問 産官学民協働推進の取り組み状況、成果と反省及び今後の方向性は。

町長 推進体制として自治会担当職員制度の導入、協働推進課の新設及びNPOや民間事業者等との協働の取組みで地域課題の把握

と解決を推進してきた。今後は、防災・福祉・子育て・教育等あらゆる分野で「地域プラットフォーム」を立上げ、団体間の横連携を組織化し問題解決の加速化を図っていく。

問 当該事業の目的の一つである商品開発で新しいマーケットの創造及び雇用創出があるが、その成果は。

町長 本町の地域特性であり、強みでもある豊かな自然環境や多様な農作物を活かした交流体験事業を新たなマーケットとして創出し、産官学民との連携の中



あしがらエリアの観光ガイドサイトを紹介

で各種体験プログラムの開発が出来た。今後は本町の一つの産業として育成発展させていく。

問 あしがらローカルブランディングについての進捗は。

町長 ブランドコンセプトである千年の湧水あしがら水源に沿った商品開発を進めたが、結果広域的に本町の魅力をPRできる仕組み構築に繋がった。

登下校時の市場踏切の安心安全は

答 児童・生徒の安全確保に努める

鈴木 武夫 議員



問 JR御殿場線の市場踏切の踏切西側は、道路が広くなり車のすれ違いがスムーズになった。しかし、踏切東側は道路の拡幅をしなかった。小中学生の登下校時は危険である。教育委員会はこの危険な状況をどう考えてい

るか。また解決策はあるのか。

教育長 毎年、通学路の合同点検をしている。市場踏切は危険箇所と認識している。通学路の安全確保に大井小と連携し、通学路の変更も視野に入れた検討をし、児童・生徒の安全確保に努める。



登下校時
危険な市場踏切東側

【旧いこの村あしがらについて】

問 旧いこの村あしがらは1年前に（株）レスポンスエンジニアに施設を引き継ぎ業務を行っている。旧いこの村あしがらの現在の状況と将来の事業計画は。

町長 去る8月22日に人工サーフィン場がオープンした。日帰り入浴と素泊まりも再開した。年末にかけ、レストランを再開させ、宿泊の食事も再開させる意向である。



町の観光の中心になる
旧いこの村あしがら

● 町のこの人あの人 ●

大井町が好き 相和が好き 地元が大好き



篠窪地区
くにしま 国島 かずこ 和子 さん

長い間、相和の活性化やボランティア活動にて利用された時期があり、当時の子ども達が和子さんを紹介します。

●結婚を機に一時大井町を離れた時期がありましたが、家庭の事情で篠窪の実家に戻り、先祖の畑を管理する傍ら平成12年に開館した「そうわ会館」に22年間勤務され、昨年3月に退職されました。勤務時代の思い出として、相和小学校に「放課後教室制度」が出来るまでは、篠窪・柳・高尾・赤田地区の児童の帰り

●平成24年から「相和活性化委員会検討部会」平成29年からは「相和

もりあげ協議会」のメンバーとして参加され、相和の歴史やPR冊子の作成に携われました。平成31年に設立された一般社団法人神奈川大井の里体験観光協会の社員として現在も各種イベントや体験民泊・修学旅行の受け入れに活躍されています。

●「どんなことにも力いっぱい、心いっぱい、いのちいっぱい生きても幸せ」が好きな言葉だと笑顔で話されていました。

●平成11年当時の相和小学校長の依頼で始めた「絵本の読み聞かせ」は現在も続いており、相和小学校の地域学校協働活動推進員としても活動されています。お母さんとご主人と3人で現在も桜や栗を中心にして7反の農業にも頑張っておられます。

●農業後継者の一人として担い手不足の今、就農で転入されてきた方や大井町に関心を持ち興味がある方とも連携して、多くの方に来ていただき好きになるように、自然体験活動を中心に



仲間と次回ワークショップの打ち合わせ中

町政を知る良い機会です。議会傍聴にお越しください。

第4回定例会開催 11月22日(火) 午前9時

問合せ先：議会事務局 ☎85-5000 FAX 83-3936



新たな広報分科会メンバー
(委員氏名は、P3に記載)

清水 亜樹

12月に任期満了を迎え、町長選挙が行われます。町のかじ取り役行政運営を任せるリーダーを決める大切な選挙であり注目されます。議会では、9月の定例会最終日に議長選挙が行われ、新しい議長が誕生し、新組織でスタートしております。議会だよりを編集する広報分科会の委員も新体制となりました。引き続き、町民の皆さまに読んで頂けるよう、分かりやすい紙面づくりに取組んでまいります。

編集後記